

今後の検討の進め方

- 今回の報告書で提言がなされたもののうち、地域の持続的発展に向けた取組を行うモデル体制(MAP'S + O)への支援、地域を担う人材の育成・外部からの人材受け入れ支援、地域コミュニティを支える「場」を整備するための支援など、一部の施策は令和3年度予算において実現を図るべく調整中。
- 一方で、オーガナイザーとアグリゲーターのそれぞれが透明性等を確保するためのガイドライン策定等の手法の検討、好事例等の効果的な情報発信、プロジェクトの社会的意義の定量化・明確化を行うための検討の継続など、引き続き残された課題も存在。
- また、事業の執行段階や執行後のフォローアップ過程においても本省・地方組織一体となって伴走支援を行っていくことも必要とされている。
- このため、今後の支援策の検討・実施については、地方経済産業局とも連携し、地域で事例の収集や事業者との対話の場を設けることとし、更なる議論の深掘りを図っていくこととしたい。その際、委員の皆様についても、任意での参加（オンラインを想定）をできることとしたい。
- 議論の状況によって、「地域の持続可能な発展に向けた政策の在り方研究会」をスポットで開催し、議論の進捗の報告をしつつ、ご意見を頂くことも検討したい。

以上